

**成長産業に相応しい薬価制度の確立に向けた緊急申入れ**

政府は医薬品産業を成長産業に位置付け、重点投資17分野に「創薬・先端医療」を指定し、産官学をあげた戦略的投資を推し進めようとしている。

しかしながら、足下では9年連続での薬価の引き下げや労務費や物価の上昇を価格に転嫁できない産業構造を背景に、6年に亘って医薬品の供給不安が継続するとともに、ドラッグラグ・ロスの問題が深刻化している。

持続可能な社会保障制度構築の観点に加え、医薬品産業を成長産業としてとらえたうえでの必要な社会保障費の予算確保を求めたうえで、以下のとおり要請を行う。

## 記

**1. インフレ経済への移行を踏まえた薬価・流通制度の見直し**

- 過度な緊縮志向の象徴であり、我が国の創薬基盤、安定供給基盤の脆弱化を招いている中間年改定による薬価の引き下げを廃止（最低限、一時凍結）すること
- 労務費や原材料費、流通コスト上昇を踏まえ、危機管理投資の観点から臨時の薬価引き上げを行うとともに、最低薬価引き上げや不採算品再算定等の下支え措置も実効性を高めた上で継続すること
- 改定前の薬価を超えないというルールを撤廃し、メーカーや卸、CMO等による適正な価格転嫁が可能な薬価・材料制度へと見直すこと

**2. イノベーションの促進**

- 米国 MFN を念頭に革新的新薬について先進国に劣後しない水準の値付けが可能な新たな薬価算定方式を導入すること
- 特許期間中の薬価を確実に維持すること、また費用対効果評価の対象および対象範囲は拡大しないこと
- 再生医療等製品については、その特徴を踏まえた薬価算定の対象及び算定に見直すこと

**3. 医薬品安全保障の確立**

- 重要供給確保医薬品や基礎的な医薬品の国内設備投資（工場新設や設備更新）に向けた補助を行うこと
- 次なるパンデミックを見据え、抗菌薬やワクチンに対する平時からの支援策（買い上げ・備蓄）を講じるとともに、設備の維持更新に係る補助を行うこと
- 医薬品流通の持続性を確保するため、流通改善に向けた取り組みの実効性を高める方策を強化するとともに、薬価制度における流通コストの位置づけを実態に合わせて見直すこと

**4. 攻めの予防医療の実現に向けた環境整備**

- 生活者が、その症状がOTC医薬品で対応可能か判断・行動できるよう、ヘルスリテラシーを向上させ医療に適切につながるための施策として、診療・調剤報酬上の手当を検討すること
- 生活習慣病薬や穿刺血等の低侵襲性検体を用いた検査薬等のスイッチOTC化をさらに推進するとともに、セルフメディケーションの適正使用推進の観点から薬剤師の職能拡大を検討すること

**5. 中央社会保険医療協議会の在り方の見直し**

- 中央社会保険医療協議会（中医協）の本委員に医薬品産業の代表者を追加すること

以上